

ろうふく協 NEWS

ホームページ <http://fukuoka.roufuku.net/>

メールアドレス roufuku@h8.dion.ne.jp

福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階
Tel 092-263-3141 fax 092-263-3121
社団法人 福岡県労働者福祉協議会

- 発行/2011年7月1日
- 発行人/高島 喜信
- 編集/大原 始



Fukuoka ROFUKUKYO

vol. 113

「公正と連帯」の社会をめざし、地域共生で暮らしに夢を!

県労福協第49回通常総会開く

新公益法人制度改革／一般社団法人への移行を決議

福岡県労働者福祉協議会は5月25日(水)、福岡市博多区「博多都ホテル」において第49回通常総会を開催しました。総会には役員・代議員・来賓等47名が出席をしました。

中村太良副会長の開会挨拶で開会し、資格審査の後、総会議長に全労済の小川洋輔代議員を選出し議事に入りました。理事会を代表して高島喜信会長より「福岡県労福協も昨年45周年を迎え、その歴史の重さを感じながら、社会情勢の変化に対応できる労福協運動の構築をめざす決意をしたところである。加えて、新公益法人制度改革への対応について、一般社団法人への移行をめざすこととしている。会員各位のご支援・ご協力を賜りたい」と挨拶がありました。

来賓挨拶では、福岡県福祉労働部労働局労働政策課・高橋俊博課長、福岡市産業政策部経済振興局雇用労働課・高松和生課長、北九州市産業経済局緊急経済雇用対策室・小南純一郎室長、福岡県退職者団体連合・橋口甚之輔会長の4名の方から祝辞を賜りました。

審議では、大原始事務局長から「2010年度決算報告」及び「2011年度補正予算案」並びに新公益法人制度改革に伴う「一般社団法人移行申請承認決議」について提案を行い、提出議案ごとに審議が行われました。その結果、全ての提出議案について満場一致で承認されました。なお、2011年度の事業計画については3月23日に開催した第48回臨時総会において既に承認を受けており、2011年度補正予算案は、2010年度決算の正式処理後に補正予算として組み替えたものです。



総会議長を務める小川洋輔代議員(全労済)

全ての議事が終了したことから、総会書記及び総会議長など総会役員の解任を行ったのち、島村利幸副会長から閉会挨拶を行い、15時に開会した第49回通常総会は、15時55分無事に閉会することができました。

(あとがき)

3月に臨時総会、5月に通常総会と年2回の総会開催は過去にも例をみないことですが、新公益法人制度改革への対応を含めて、今後は臨時総会を開催する中で、福岡県労福協の将来像をみんなで議論することになります。会員の皆さんのご指導・ご協力をぜひにお願い申し上げます。



第49回通常総会の風景(開会式会中/中村太良副会長)

2011年度「講演会」～ 福岡県労福協

カラーコーディネートで魅力的な自分発見 男性諸君はもっともっとオシャレをしよう！

労福協 2011年度 講



講演する竹下順子先生

福岡県労福協は、第49回通常総会が開催された5月25日(水)、通常総会に引き続いて「2011年度講演会」を開催しました。講演会では、講師にドゥビー・カンパニー代表の竹下順子さんを講師に招き、「カラーコーディネートで魅力的な自分発見」をテーマに約50分の講話を頂きました。

講話で竹下順子先生は、「男性は形を重視し、女性は色を重視する傾向がある。よって、女性にモテたかったら、男性はもっとお洒落を楽しむべきであり、ピンク色のワイシャツなどを着用してみるのも良い。」と女性の好む色としてピンク色をあげました。また、お洒落を楽しむ方法として、「工作中的ネクタイと仕事解放後のネクタイを変えることも大切で、会社のロッカーには2・3本のネクタイを準備しよう」などお洒落について教授されました。

また、色によって心理状態の変化が起こることから、事務所・マイホームの壁の色についても気を配ることが大切など、生活における色彩心理についても講話がありました。



地域だより

～ 筑紫・朝倉地域労福協 ～



筑紫・朝倉地域労福協は福岡市の郊外に位置する筑紫地区4市1町と朝倉地区の1市1町1村を所在とする「地域労福協」です。筑紫地区は福岡市のベッドタウンという都市機能と太宰府天満宮を中心とする歴史文化の町という魅力あふれる地域です。また、朝倉地区は農業を中心とした緑豊かな農村地帯で、特に柿やぶどうは全国に出荷され、地域の基幹産業となっています。



「太宰府天満宮」

筑紫・朝倉地域労福協の主な活動については、地域でのボランティア活動や会員間の交流を目的とした取り組み、地域での勤労者の生活をサポートする取り組みを中心に活動を行っています。

地域でのボランティアでは、福祉募金による「車いすノーパンクタイヤ」への交換活動を行っています。また、家族ふれあいナイターの取組みによる「福祉施設の招待観戦」は10年続く取り組みで、現在まで延べ300人を福岡ドームのナイター観戦に招待しました。勤労者の生活サポートを進める取り組みでは、世代ごとの「サポート研修会」の開催や地区労福協単位での「相談活動」を実施しています。今後の課題は、自治体との連携強化と加盟団体の拡大となっています。



「朝倉の三連水車」

北九州総合労働会館第37回通常総会

2011年5月30日(月)
北九州総合労働会館

社団法人北九州総合労働会館は、5月30日(月)13時から北九州市小倉北区真鶴「北九州総合労働会館」において、第37回通常総会を開催し、平成22年度事業報告及び決算報告、平成23年度事業計画案及び予算案などの審議を行い、全ての提出議案が原案通り承認されました。特に、新公益法人制度改革に関する移行申請については、公益社団法人への移行と移行後の定款変更案が承認されました。

なお、北九州総合労働会館は昭和55年に創立され、昨年5月には30周年を迎えました。会館を取巻く環境は厳しく、特に建物の老朽化に伴う改修工事費の増大や利用者の減少による減収などが経営を圧迫している状況が続いています。北九州総合労働会館の活用を推進しましょう。

平成22年度～平成23年度 役員名簿

役 職	氏 名	選出団体
理 事 長	末 廣 勝 嘉	北九州地域労福協
副理事長	深 町 裕 二	連合北九州地協
〃	淵 上 耕 樹	連合北九州地協
専務理事	佐 伯 衛	北九州地域労福協
理 事	中 村 一 輝	連合北九州地協
〃	徳 富 幸 治	連合北九州地協
〃	長 尾 重 治	北九州地域労福協
〃	光 永 志 津 夫	北九州地域労福協
〃	木 村 洋 三	九州労働金庫
〃	染 井 和 久	九州労働金庫
〃	岩 木 克 明	全労済福岡県本部
〃	松 井 康 浩	全労済福岡県本部
監 事	田 中 鉄 也	北九州地域労福協
〃	河 本 隆 志	北九州地域労福協



写真：通常総会の風景
理事會を代表して挨拶する
末廣勝嘉理事長。

福岡地域労福協第12回総会 2011年6月7日／福岡市博多区朝日ビル

福岡地域労福協2011年度役員体制

役 職	氏 名	所属団体
会 長	矢 田 信 浩	連合福岡地協
副 会 長	小 森 伸 一	連合福岡地協
〃	境 俊 郎	九州労働金庫
〃	井 川 幸 夫	全労済福岡県本部
事務局 長	永 瀬 幸 男	連合福岡地協
事務局次長	岡 崎 正 登	連合福岡地協
幹 事	川 添 修	連合福岡地協
〃	笹 嶋 健 次	連合福岡地協
〃	先 川 勇 司	連合福岡地協
〃	浦 瀬 和 久	連合福岡地協
〃	中 村 博 史	連合福岡地協
〃	安 山 宏 明	連合福岡地協
〃	中 野 幸 功	連合福岡地協
会 計 監 査	保 田 哲 行	連合福岡地協
〃	森 部 好 博	九州労働金庫

福岡地域労福協の第12回総会が6月7日(火)18時30分より福岡市博多区・朝日ビルにおいて開催されました。総会には役員・会員57名が参集し、2010年度活動経過及び収支決算、2011年度活動方針案及び収支予算案等の審議が行われました。



総会風景：幹事會を代表して挨拶を行う矢田信浩会長

提出議案については原案通り承認され、役員改選では、矢田信浩会長(連合福岡地協／電力総連)をはじめとする役員体制が構築されました。

北九州地域労福協第19回総会

2011年6月16日(木)
北九州総合労働会館

北九州地域労福協の第19回総会が6月16日(木)17時から北九州市小倉北区真鶴「北九州総合労働会館」において役員・会員56名が出席し開催されました。来賓として北橋健治北九州市長が臨席され祝辞を頂きました。

議案審議では、全ての提出議案が原案通り可決・承認されました。



幹事会を代表して挨拶する品川浩二会長

2010年度～2011年度 役員氏名

役 職	氏 名	出身団体名
会 長	品 川 浩 二	基幹労連
副 会 長	川 本 啓 二	セラミック連合
〃	末 廣 勝 嘉	電力総連
〃	浅 野 斉 二	情報労連
〃	渡 辺 勝 英	私鉄総連
〃	長 野 豊 喜	九州労働金庫
事務局 長	中 村 一 輝	北九州地域労福協
幹 事	三 原 淳 一	UIゼンセン同盟
〃	青 柳 豊	電機連合
〃	向 野 貴 司	JR連合
〃	中 川 訓 一	JP労組
〃	光 永 志 津 夫	福教組
〃	山 口 信 幸	自治労
〃	森 下 弘 樹	自動車総連
〃	大 久 保 栄 造	JEC連合
〃	田 中 鉄 也	日本J-1工業社員労組
〃	佐 伯 衛	北九州総合労働会館
〃	松 井 康 浩	全労済福岡県本部
会 計 監 査	河 本 隆 志	運輸労連
〃	梁 井 和 久	九州労働金庫

遠賀川地域労福協第16回定期総会

2011年6月17日(金)
直方中央公民館

遠賀川地域労福協の第16回定期総会が6月17日(金)18時から直方市中央公民館において役員・会員29名が出席し開催されました。来賓として山本剛正衆議院議員の大家秘書が臨席し連帯の挨拶を受けました。また、福岡県労福協の大原事務局長から「一億総中流社会から一転して格差社会に突入した現状に触れ、格差是正に向けて協同組合の意義や取組み対応」などについて挨拶がありました。

議案審議では、全ての提出議案が原案通り可決・承認されました。役員改選では田中義博会長をはじめとする役員体制の構築が図られました。



幹事会を代表して挨拶する田中義博会長

2011年度役員氏名

役 職	氏 名	所属団体
会 長	田 中 義 博	連合遠賀川地協
副 会 長	船 津 喜久男	中遠地区労福協
〃	江 頭 漢 哉	直鞍地区労福協
〃	片 岡 厚	嘉飯地区労福協
事務局 長	寒 竹 準 一	連合遠賀川地協
幹 事	田 中 清 之	中遠地区労福協
〃	河 村 敏 昭	直鞍地区労福協
〃	田 添 欽 彦	嘉飯地区労福協
〃	松 野 健 一	筑豊地区友愛会
〃	東 原 浩 一	九州労働金庫
〃	有 吉 洋 子	全労済福岡県本部
会 計 監 査	権 藤 圭 一	九州労働金庫
〃	倉 本 真 介	全労済福岡県本部

中央労福協「2011年度全国研究集会」開かれる

復興・再生に向け労働組合・協同組合に出来る役割を考える

東日本
大震災

中央労福協は6月9日・10日の両日、2011年度全国研究集会を東京都新宿区「新宿ワシントンホテル」において開催しました。福岡県労福協から各地域労福協事務局長を中心に7名が参加をしました。

研究集会は、本年3月11日に発生した東日本太平洋沖を震源とする大地震と巨大な津波により、東北・関東地方で2万4千人の方が亡くなり、いまなお8千人以上の方が行方不明者になり、人的被害とライフライン、家屋、産業基盤、行政機能の損壊など甚大な被害を受けました。大震災発生直後より、あらゆる角度から初動支援を展開し、現在も継続して支援を行っている各団体の活動を確認し、復興・再生に向けて極めて有効なパーソナル・サポート・サービス(住宅、生活、就職等)や今後長期になる支援について考え、また、今後の課題や生活のあり方について考える集会となりました。

集会テーマを「大震災の支援のあり方」、「今後の復興・再生に当たって被災者に対する有効な手段や生活等の考え方やライフスタイル」の2つをテーマに掲げ運営されました。

【プログラム】

■特別報告Ⅰ「東日本大震災発生からの支援」

1. 日本生活協同組合連合会
2. NPO事業サポートセンター
3. セカンドハーベストジャパン

■特別報告Ⅱ「大震災発生後の事業団体の取組み」

1. 全国労働者共済生活協同組合(全労済)
2. 日本労働者協同組合連合会(労協連)
3. 社団法人全国労働金庫協会(労金協会)

■特別報告Ⅲ

「パーソナル・サポートセンターの重要性と今後の課題」について
千葉県野田市・根本崇市長

■特別報告Ⅳ

「働くことを軸とする安心社会」からの「災害復興・再生に向けた政策」の考え方について
連合総合政策局・小島茂総合局長

■基調講演「大震災が我々に突き付けたものは何か」

哲学者／立教大学教授・内山節氏

中央労福協「第5期 労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」

6月22日～24日／北九州市小倉北区「ホテル ニュータガワ」で開催される

中央労福協は、21世紀社会に対応しうる新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者(講師、リーダー)として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成を図ることを目的に開催されました。開催は東日本ブロックと西日本ブロックに分け、西日本ブロックでは6月22日から24日までの2泊3日の日程で、北九州市小倉北区「ホテルニュータガワ」で開催されました。福岡県労福協は、次代のリーダー育成が最重要課題であるとの認識から5名を参加させました。受講者の今後の活躍を期待します。



開催地労福協として歓迎挨拶を行う高島会長

【講義内容】

【笹森 清会長 逝く】

中央労福協会長を務める笹森清氏が6月4日、逝去されました。謹んでお知らせ申し上げます。

なお、7月19日東京・帝国ホテルにおいて「お別れの会」が行われます。

笹森清会長は、東京電力労組出身で2001年には連合会長(第4代)に就任。2005年まで務めた後、中央労福協会長に就任されました。また、2010年には内閣特別顧問に就任されました。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 講義1 「労働運動・労働福祉運動の理念・歴史」 | 中央労福協・高橋均事務局長 |
| 講義2 「日本社会と協同組織事業に期待するところ」 | 早稲田大学教授・田村正勝氏(経済学博士) |
| 講義3 「働くことを軸とする安心社会と労働者福祉運動の課題と方向性」 | 連合副事務局長・山本幸司氏 |
| 講義4 「労働運動・労働福祉運動が地域社会に果たすべき役割」 | 山口福祉大学教授・高木郁郎氏 |
| 講義5 「NPO/NGOと労働組合・労働協の連帯と協働」 | 前埼玉県労協専務理事、連合香川特別役員、NPOサポートセンター四国 |
| 講義6 「政策提言活動」 | 中央労福協・大塚敏夫事務局長代行 |
| 講義7 「労働金庫講座～創業の理念を今こそ暮らしのなかに」 | 全国労働金庫協会総務統括部次長・白井陽一氏 |
| 講義8 「全労済講座～全労済のあゆみと現況」 | 全労済全国組織事業本部事業推進1部企画課長・飯田浩章氏 |

「東日本大震災」における全労済の対応と共済金支払い状況について

3月11日に宮城県沖で発生した「東日本大震災」による被害は、22道都県に及んでおり、全労済では被災された加入者の方々への対応として、掛金の払込猶予期間の延長、航空写真・衛星写真を用いた被災認定等を実施しています。また、各種共済金の支払いについては、甚大な災害などの際に適用される削減規定を適用せず全額支払いとすること等の対応をしています。

さらに組合員の皆さまへの迅速な対応を最優先と考え、被害が甚大な6県(岩手・宮城・福島・茨城・栃木・千葉)の被災地に全国から役職員を動員し、現場調査・損害認定活動を実施しています。災害支援委員は、5月11日までに延べ14,000人の役職員が調査活動を行っており、現在も継続して調査活動をすすめています。

現時点での「東日本大震災」にかかる共済金等の推定支払額は、損害系共済(火災・自然災害共済)で84,000件・1,000億円、生命系共済(こくみん共済他)で100億円と推定しています。

■ 共済金のお支払い状況(2011年5月31日現在)

(1) 損害系共済(火災・自然災害共済)	(2) 生命系共済(こくみん共済他)
支払件数45,381件、支払金額478億1,500万円	支払件数320件、支払金額17億9,900万円

共済金の支払いに対する担保力について

(1) 損害系共済(火災・自然災害共済)

異常危険準備金の取崩しと再共済金(再保険)の回収見込みなどにより十分に対応が可能です。

(2) 生命系共済(こくみん共済他)

共済金推定支払額は、異常危険準備金の取崩しの必要がない水準です。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、権利を目的としない保障の
金庫として災害発生時、被害者
の皆さまの安心とゆとりある暮らしを
めざしています。災害金をお支払い
いただいている間に、各種共済を
ご利用いただけます。

全労済福岡県本部
福岡県労働者共済生活協同組合

東日本大震災 復興支援定期預金のご案内

九州ろうきんは、東日本大震災からの復興・復興支援策の一環として、2011年5月1日(日)より、「東日本大震災復興支援定期預金」の取組みを行っています。

期間中に1年以上の定期預金をお預け入れていただくと、九州ろうきんが預入総額の0.1%を義援金として寄付いたします。

お客さまのご預金が復興支援につながります。皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。

取組み期間：2011年5月1日～2011年7月31日

対象となる預金：取組み期間中新規にお預け入れていただく、預入期間1年以上の個人定期預金。

※団体預金および自動継続・積立性預金(財形貯蓄・エース預金等)は対象外となります。

はたらく人の、
生活応援バンク **R**ろうきん

九州労働金庫福岡県本部 TEL 092-714-7143